

# 都 城 市

まち・ひと・しごと創生

総 合 戦 略

第 2 期

【概要版】



幸せ上々、みやこのじょう  
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

令和2年4月

宮崎県都城市

# まち・ひと・しごと創生

## 地方創生の実現に向けて

地方創生の実現に向けて、世界に先駆けて日本が直面する人口減少・少子高齢化という構造的課題について、その危機感を国と地方全体で広く共有した上で、将来にわたって活力ある地域社会を維持する観点から、本市においても、平成 27 年度に、第 1 期総合戦略を策定し取組を進めてきました。今後も、第 1 期の取組を強化・拡充し、更に深化した施策をもって、第 2 期総合戦略に掲げた取組を推進していきます。

## 都城市人口ビジョン

### 人口の将来展望

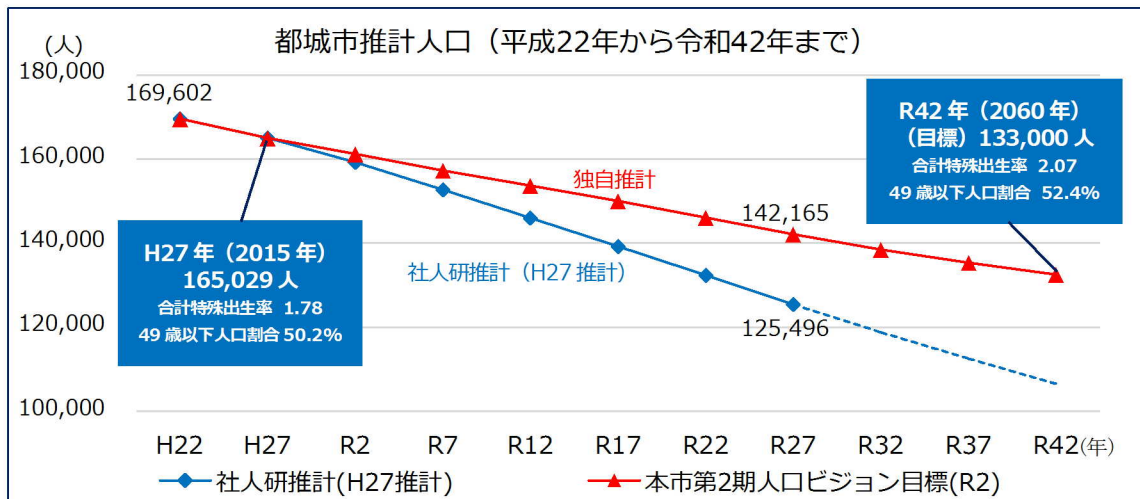
#### ◎人口ビジョンに掲げる目標人口

令和42年：市総人口

**概ね 13万3千人**

#### ○合計特殊出生率 **2.07** ○49歳以下人口割合 **52.4%**

- ・合計特殊出生率を段階的に2.07まで上昇
- ・49歳以下の年齢層で社会減抑制を図る



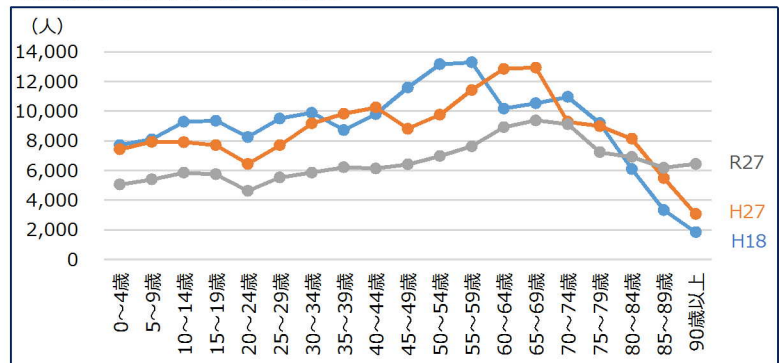
## 人口の現状分析

### ① 人口構造の推移

#### 人口構造の推移

- 本市の総人口は 165,029 人です。（平成 27 年国勢調査時点）
- 年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）の割合は減少を続けています。
- 老年人口（65 歳以上）の割合は増加を続けており高齢化が進んでいます。
- 令和 27 年には、60 歳代が最も多い世代になると予測されています。

#### 5 歳階級別の人口分布の推移

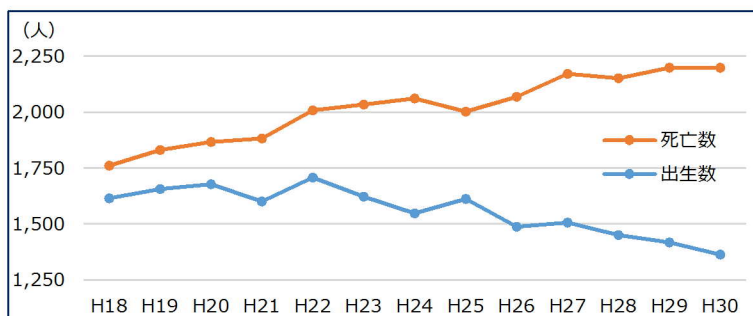


## ② 自然動態の推移

### 自然動態の推移

- 平成 18 年以降、死亡数は増加の傾向にあり、平成 27 年からやや横ばいの傾向が見受けられます。
- 出生数は平成 22 年以降、減少の傾向にあり、今後も減少することが予想されます。

都城市の出生数と死亡数の推移

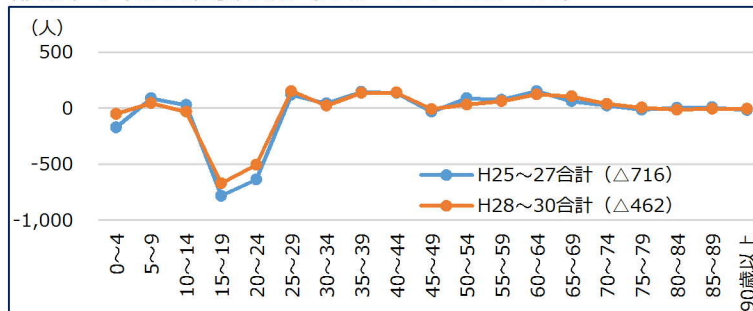


## ③ 社会動態の推移

### 社会動態の推移

- 15 歳から 24 歳までにおいて、大きく転出超過となっています。
- 転出超過は、若者が進学・就職の際に、都市部へ流出していることが大きな要因となっています。
- 25 歳以上は、転入超過の傾向が見られます。

都城市の年齢別社会増減 (H25~27、H28~30)



## ④ 周辺市町との関係

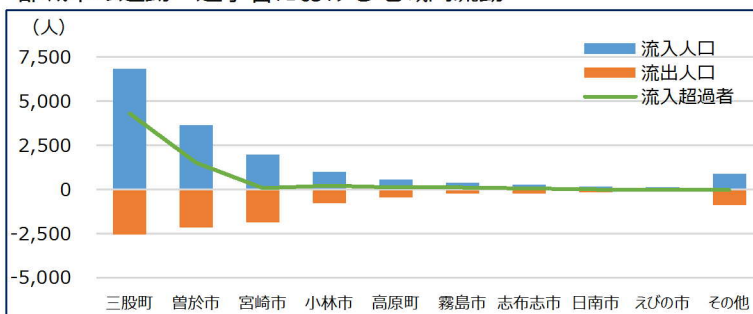
### 通勤・通学者における地域間流動

- 周辺市町からの通勤・通学者が多く、圏域内における本市の拠点性の高さが伺えます。
- 最も通勤・通学者が多いのは、三股町となっています。

### 【都城広域定住自立圏】

- 中心市：都城市
- 構成市町：三股町、曾於市、志布志市

都城市の通勤・通学者における地域間流動



## 総合戦略

### ① 計画期間

本総合戦略は、第 1 期総合戦略（平成 27 年度から令和元年度まで）から引き続き、切れ目のない計画期間とし、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 か年を計画期間とします。

### ② 目指すべき方向

**継続を力**にして、**施策**(プロジェクト)の更なる**深化**で

都市目標像

**「市民の笑顔が広がる**

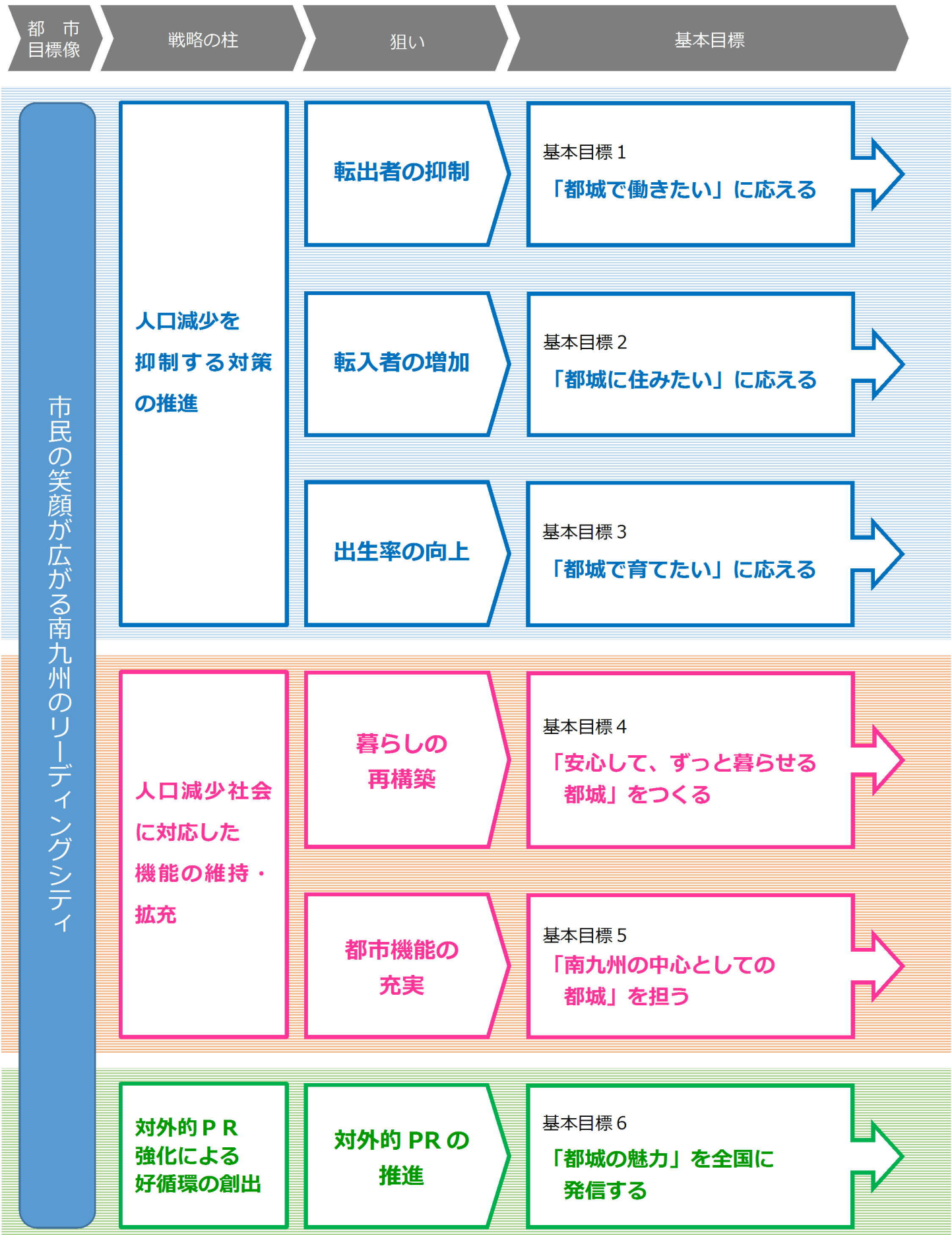
**南九州のリーディングシティ」**

を実現し、都城市を次世代につないでいく

本市の地理的な優位性と豊富な地域資源を最大限に活かして、南九州のリーディングシティ「都城」を創生し、次世代に引き継ぎます。

# 総合戦略の体系

人口ビジョンで掲げた目標人口（令和 42 年 概ね 13 万 3 千人）を達成し、地方創生を実現するために、今後 5 年間（令和 2 年度～令和 6 年度）に取り組む「戦略の柱」、「狙い」、「基本目標」、「施策」等をまとめています。





## 施策

## 主要プロジェクト

- ① 都城の「地の利」を活かし、南九州の物流拠点を形成する
- ② 地域の基幹産業の振興を図る
- ③ 地域産業の競争力強化を図る
- ④ 就職支援を強化し、雇用拡大を図る

### I 雇用の増加

～地の利を最大限に活用～

### II 地域産業の振興

～地場産品の高付加価値化と販路拡大～

- ① 移住・UIJ ターンを促進する
- ② 高等教育機関等の活性化により、若年人口の増加を図る
- ③ 医療体制の充実を図り、健やかな暮らしを守る
- ④ 協働によるまちづくりを推進する

### III 移住定住の促進

～UIJ ターンの受入体制の強化～

### IV 健康寿命の延伸

～人生 100 年時代、  
健康で自分らしい生活を維持～

- ① 婚活の支援と出産・子育て支援の充実を図る
- ② 次世代を担う子どもたちの学力向上と人間力育成を進める
- ③ グローバル化への対応と国際交流の推進を図る
- ④ 仕事と家庭の両立を支援し、女性の活躍の場を拡大する

### V 子育て支援の更なる充実

～女性の社会進出と仕事の両立～

### VI 学力向上の推進

～すぐれた知性を育む～

- ① 土地利用の誘導に努め、コンパクトなまちづくりを推進する
- ② 中山間地域等の維持・活性化を図る
- ③ 防災体制の強化を図り、安心・安全なまちづくりを進める
- ④ 公共施設等の長寿命化と管理運営の適正化を進める
- ⑤ 豊かな自然環境を保全し、共生のまちづくりを推進する

### VII コンパクトなまちの実現

～人口減少に対応した都市構造の見直し～

### VIII 安全・安心な暮らしの確立

～自助を推進する地域防災力の強化～

- ① まちなかの活性化等により、拠点性の更なる向上を図る
- ② 圏域の中心市として、広域連携を推進する
- ③ 人材育成とデジタル化の両輪により、市民満足度の向上を目指す

### IX 広域拠点としての都市機能の充実

～牽引力・求心力の強化～

### X 人材育成とデジタル化の推進

～本気で挑戦！日本一の市役所！～

- ① 歴史・文化資源を継承し、地域への誇りを醸成する
- ② 都城の観光資源を再整備し、観光客の誘致を図る
- ③ 都城の認知度を高め、選ばれる自治体を目指す

### XI 対外的 PR の更なる推進

～関係人口の創出・拡大～

## 主要プロジェクト

総合戦略に掲げる6つの基本目標ごとに、11の主要プロジェクトを掲げて重点的に取り組みます。

### 主要プロジェクト

#### I 雇用の増加 ～地の利を最大限に活用～

##### 【施策の方針】

南九州の中心に位置し、九州縦貫自動車道宮崎線、地域高規格道路「都城志布志道路」等の幹線網の結節点を有する「地の利」を活かして、南九州の物流拠点を形成し、雇用の場を創出することにより、転出者を抑制。



##### ◆施策の方向性

- ◎企業立地活動を強化し、立地環境及び地域の人材や技術等の情報発信を行うとともに、企業立地奨励措置の拡充等を行い、製造業や物流関連企業の積極的な企業立地を推進し、雇用創出に努める。
- ◎都城志布志道路の整備促進について、国・県の事業推進を積極的にサポートするとともに、国・県等への要望活動を行い、早期完成を目指す。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
新規企業立地件数	7件/年 (H30)	50件 (R2～6)

### 主要プロジェクト

#### II 地場産業の振興 ～地場産品の高付加価値化と販路拡大～

##### 【施策の方針】

担い手の確保や農地集約を推進し、基幹産業である農林畜産業の再構築を図り、儲かる農業を推進。さらに、物産振興拠点の整備による地場産品の販路拡大等を促進して、地域経済の活性化を図ることにより、安定した雇用の確保・拡大を実現し、転出者を抑制。



##### ◆施策の方向性

- ◎認定農業者制度や農業経営の法人化を推進する。
- ◎6次化商品を含む都城産農林畜産物の大都市圏や海外を意識した販売力強化に努め、様々な機会を捉えた販路拡大等に取り組む。
- ◎物産振興拠点を整備し、地場産品の地域内外へのPRを強化することにより、地域外からの外貨を獲得する。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
道の駅都城の販売額	171,612千円/年 (H30)	340,000千円/年 (R6)



## 主要プロジェクト

## Ⅲ 移住定住の促進 ～UIJターンの受入体制の強化～

## 【施策の方針】

高等教育機関、地元企業等とのパートナーシップを強化し、就業等の支援など、地域一体となって移住定住の促進に取り組むとともに、UIJ ターン希望者の受入体制を充実し、転入者の増加を実現。



## ◆施策の方向性

- ◎市ホームページや SNS の活用、県外の同郷人会との連携等、多様な手段により、多くの移住希望者に情報を発信する。
- ◎移住定住に関するサポート体制を整備し、きめ細やかに相談に対応する。
- ◎地元企業等とのパートナーシップを強化し、移住支援と就職支援をセットにして、人材誘致を積極的に推進する。
- ◎高度な教養と専門技術を学ぶ教育機関を支援し、多様な教育の場を確保する。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
移住・UIJ ターン促進パートナーシップ企業数	13 社 (H30)	20 社 (R6)

## 主要プロジェクト

## Ⅳ 健康寿命の延伸 ～人生 100 年時代、健康で自分らしい生活を維持～

## 【施策の方針】

高齢者が健康で自分らしい生活を続けるため、生きがいづくりや社会参加を支援し、健康診査及び各種検診の受診率向上を図り、生活習慣病の予防と改善を推進。健康寿命の延伸及び生活の質の向上を目指す。



## ◆施策の方向性

- ◎高齢者が、健康で自分らしい生活を維持できるように健康づくり等を進め、地域での見守りをしながら生きがいづくりや社会参加を支援する。
- ◎健康診査及び各種検診の受診率の向上を図り、健康教育や健康相談、訪問指導等を進めるとともに、栄養相談や食生活改善指導に努め、生活習慣病の予防と減少を図る。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
特定健康診査受診率（受診者数÷長期入院者等を除く 40 歳以上の国民健康保険被保険者数）	48.2%/年 (H30)	60%/年 (R6)

## 主要プロジェクト

## V 子育て支援の更なる充実 ～女性の社会進出と仕事の両立～

## 【施策の方針】

乳幼児期の教育・保育サービス、子育て支援の充実により、出産・子育てしやすい環境を整備し、安心と喜びの中でゆとりをもって子どもを産み、育てられる社会を目指す。



## ◆施策の方向性

- ◎安心して妊娠・出産・産後を迎えるための支援を実施し、子どもを生み育てやすい環境づくりを推進する。
- ◎保育士の確保をはじめとした教育・保育を支える人材の確保及び育成に努め、教育・保育サービスの質の向上を図る。
- ◎充実した医療費助成により、子どもの健やかな成長を支援する。
- ◎子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業等、保護者のニーズに対応したサービスを提供する。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
ファミリーサポートセンター活動件数	5,842 件/年 (H30)	6,100 件/年 (R6)

## 主要プロジェクト

## VI 学力向上の推進 ～すぐれた知性を育む～

## 【施策の方針】

次世代を担う子どものすぐれた知性を育み、社会を生き抜く力を育成し、ふるさとを誇りに思い、世界に羽ばたく子どもを育む教育を推進。計画的な学校施設の整備及び ICT 導入による教育環境の整備・充実を図る。



## ◆施策の方向性

- ◎きめ細やかな授業や指導方法等の工夫改善を推進するとともに、教職員の研修等を支援し、児童生徒のすぐれた知性を育む。
- ◎小学校図書館サポーターを配置し、読書を通して豊かな感性を育む教育を推進する。
- ◎ICT 導入による教育環境の充実を図る。
- ◎ALT (外国語指導助手) を通して、語学力の向上及び豊かな国際感覚を身につける機会を提供する。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
外国語指導助手 (ALT) 配置人員数	16 人 (H30)	18 人 (R6)



## 主要プロジェクト

## Ⅶ コンパクトなまちの実現 ～人口減少に対応した都市構造の見直し～

## 【施策の方針】

人口減少社会においても、将来にわたって持続可能な都市経営を行うために、生活基盤となる都市機能の維持、公共インフラの適正な整備を行い、コンパクトなまちづくりを推進。



## ◆施策の方向性

- ◎都市機能及び居住の適切な誘導を進めつつ、農山村地域との調和を図り、土地の有効利用に努める。また、適正な土地利用のあり方について、見直すとともに、啓発を行う。
- ◎中心市街地の空き家・空き地等を活用し、居住基盤の整備を図る。
- ◎公共施設など既存の社会資本ストックを他の拠点施設として有効活用し、中山間地域等の生活拠点の維持・活性化を図る。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
中心市街地の共同住宅整備件数 (新築・リノベーション)	-	3棟 (R2～6)

## 主要プロジェクト

## Ⅷ 安全・安心な暮らしの確立 ～自助を推進する地域防災力の強化～

## 【施策の方針】

市民と企業と行政が一体となった防災・減災体制を構築。救急体制を充実化し、迅速な対応により市民の命を守る。また、悲惨な交通事故を根絶するための啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図る。



## ◆施策の方向性

- ◎市民と企業と行政が一体となった防災・減災体制をつくり、自助・共助を推進する地域防災力を強化する。
- ◎救急用資器材の充実を図るとともに、救急救命士・認定救急救命士の養成や救急隊員の技術向上に努める。
- ◎参加・体験・実践型の教育方法を取り入れ、市民のマナーアップを図るため、運転者や歩行者、年代別等の対象に合わせた、きめ細かな交通安全教育を推進する。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
自主防災組織結成率 (自治公民館単位)	90.4% (H30)	93.0% (R6)

## 主要プロジェクト

## IX 広域拠点としての都市機能の充実 ～牽引力・求心力の強化～

## 【施策の方針】

広域の拠点都市（中心市）として、まちに賑わいと活力を生み出し、ひとが集う魅力的な都市空間を創出。また、宮崎県立陸上競技場をはじめとした拠点施設の整備促進や、大規模災害時の後方支援体制の強化等、都市機能の充実により牽引力・求心力を高める。



## ◆施策の方向性

- ◎ 中心市街地中核施設に集約整備した図書館等の魅力を広く情報発信し、市民の来街動機を刺激することで、施設利用者や来街者の増加を図る。
- ◎ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、宮崎県と連携し宮崎県立陸上競技場等の整備を進める。
- ◎ 周辺地域の市町と連携して、大規模災害発生時における相互協力体制を構築するとともに、平時から各種取組を進め、後方支援体制を強化する。

重点業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
中心市街地の集客施設入込み数	3,097,605 人/年 (H30)	3,399,448 人/年 (R6)

## 主要プロジェクト

## X 人財育成とデジタル化の推進 ～本気で挑戦！日本一の市役所！～

## 【施策の方針】

更なる人財育成による組織活性化で、市民の幸福と市の発展を実現。さらに、ICT や AI 技術等の導入促進を図るために企業等との連携を強化するとともに、迅速・丁寧な行政サービスの提供に取り組み、市民満足度の向上を目指す。



## ◆施策の方向性

- ◎ 都城フィロソフィによる更なる人財育成を実施し、組織の活性化を進め、コンセプトに沿った適切な戦略に基づく施策の推進を図ることで、市民の幸福と市の発展を実現する。
- ◎ マイナンバーカードをはじめとする、社会の姿を大きく変えるデジタル技術（ICT）の積極的な活用により、市民サービスの向上を図る。

重点業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
マイナンバーカードの交付率	29.12% (H30)	100% (R6)



## 主要プロジェクト

## XI 対外的 PR の更なる推進 ～関係人口の創出・拡大～

## 【施策の方針】

郷土の歴史を再認識し、地域資源を磨くことにより市民の郷土に対する誇りを醸成。対外的 PR を更に進め、これまでの取組で本市を知ってもらった人等と継続的な関係性を構築し、関係人口の創出・拡大を図る。



## ◆施策の方向性

- ◎ 「肉と焼酎」を観光の目玉としたツーリズムを展開する。
- ◎ 県やスポーツ・文化施設、宿泊施設、旅行代理店等と連携して、プロスポーツチームのキャンプや学生等のスポーツ・文化合宿の積極的な誘致を推進する。
- ◎ PR ロゴ・キャッチコピー・PR キャラクターぼんちくん等の素材を積極的に活用し、統一感を持たせて効率的にPRする。
- ◎ ふるさと納税等を通じて本市を「知ってもらった人」「関心を持ってもらった人」と継続的な関係性を構築し、関係人口の創出・拡大を図る。

重点業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
都城市ふるさと納税特設サイトの会員数	46,811 人 (H30)	71,000 人 (R6)

## 都城市総合政策部総合政策課

〒885-8555

宮崎県都城市姫城町6街区21号

電話 0986-23-7161

FAX 0986-23-2675

planning@city.miyakonojo.miyazaki.jp



新域



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統